

2025年6月 市薬研修案内

会 員 各 位

一般社団法人福岡市薬剤師会

下記のとおり、研修会を開催いたします。

☆研修会は事前申込み制となります。

申込詳細については、個別の案内状にてご案内しておりますのでそちらでご確認ください。

◇開 催 場 所：

福岡市薬剤師会館 4F 講堂 福岡市中央区今泉 1-1-1 TEL：(092) 714-4416

開催日	研修会名	演 題 ・ 講 師 など
6 月 3 日 (火) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	《あらゆる領域に強くなろうシリーズ》 【特別講演】 演 題：「実臨床における甲状腺疾患の薬物療法の実際」 演 者：やました甲状腺病院 内科部長 橘 正剛 先生 【要旨】甲状腺疾患は内分泌代謝領域において糖尿病について遭遇することが多い疾患であるが、糖尿病と異なり使用される薬剤は非常に限られている。現状、チアマゾール（以下、MMI）、プロピルチオウラシル（以下、PTU）、ヨウ化カリウム（以下、KI）、レボサイロキシシン（以下、LT4）の4つの薬剤が甲状腺診療において中心的に使用される。その他、注目すべき薬剤としては、甲状腺眼症に対するテプロツムマブや甲状腺癌に対する分子標的薬（レンバチニブ、ソラフェニブ、エンコラフェニブ、ビニメチニブなど）などが挙げられる。今回の講演では、甲状腺専門医や内分泌代謝科専門医の MMI、PTU、KI、LT4 の実臨床における使い方やその意図、注意している点などについて解説したい。また、テプロツムマブや分子標的薬についても簡単に触れたい。
6 月 4 日 (水) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	医療安全セミナー 2025	《 医療安全セミナー 2025 》 ～医薬品の過剰使用（オーバードーズ）の現状～ 【講演Ⅰ】 演 題：「(仮) 医薬品の過剰服用について～国政の現場より～」 演 者：参議院議員 本田 顕子 先生 【講演Ⅱ】 演 題：「サイバー空間における薬物汚染の状況と薬物乱用防止啓発活動の効果について」 演 者：福岡大学 薬学部 助教 牛尾 聡一郎 先生 【講演Ⅲ】 演 題：「オーバードーズに関するアンケート調査について」 演 者：福岡市保健医療局 保健所地域衛生部 城南衛生課 医薬務係長 本田 有里 様 主催：福岡市薬剤師会 共催：福岡県薬剤師会 ※本研修会は、 <u>研修単位の付与はございません。</u> ご了承ください。 ※申込方法等の詳細は個別のご案内文書にてご確認の上、お申込みをお願いいたします。

開催日	研修会名	演 題 ・ 講 師 など
6 月 9 日 (月) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	《あらゆる領域に強くなろうシリーズ》 ～生活習慣病・脂質異常症を知ろう～ 【教育講演】 演 題：「薬剤業務に役立つ生活習慣病豆知識 ～脂質異常症・高尿酸血症～」 演 者：持田製薬株式会社 福井 雄基 様 【特別講演】 演 題：「脂質異常症治療の最前線と残余リスクの包括的管理」 演 者：九州大学病院 循環器内科 診療講師 香月 俊輔 先生 *疾患の基本的概要や薬物治療に関する最新情報 *エビデンスに基づく服薬指導ができる。未病対策にも活かす 【要旨】スタチンを中心とした積極的脂質低下療法は、多くの臨床試験により ASCVD の一次・二次予防における有効性が示され、日米欧のガイドラインで標準治療として位置付けられている。近年では、スタチンにエゼチミブや PCSK9 阻害薬を併用することで、LDL-C 管理目標値は一層厳格化の方向へと進んでいる。一方で、依然として高トリグリセリド血症を中心とする残余リスクの存在は看過できない。本講演では、最新のエビデンスを踏まえた脂質管理の進展と今後の方向性、ならびに残余リスクへの対応について概説する。
6 月 12 日 (木) 19 時 30 分 ～ 21 時 00 分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	《東大・薬剤師会育薬セミナー》 【ヒヤリ・ハット・ホッと】 ▶ 高齢者の服用に適切な剤形を提案した 【薬局プレアボイド解析ベーシック】 ▶ ベルソムラ錠を服用中の患者にクラリスロマイシン錠が開始されたことが1か月後に発覚 ～ベルソムラとクラリスロマイシンを1か月間併用し続けていた患者への対応を考える～ 【症例から学ぼう副作用】 ▶ 気にしておきたい副作用 - 骨粗鬆症治療薬 ① 【医薬品適正使用・育薬のホットな情報】 ▶ 有害事象自発報告で帯状疱疹の報告が多い医薬品は？ 【ニュードラッグインフォメーション】 ▶ 結腸・直腸がんと VEGFR 阻害薬：新薬の医薬品情報のポイント (フリュザクラカプセル 1 mg・5 mg <フルキンチニブ>) 【クローズアップ DI (新薬)】 ▶ 近視進行抑制とアトロピン点眼：薬理・動態・適正使用のポイント (リジュセアミニ点眼液 0.025% <アトロピン硫酸塩水和物>) 講 師：東京大学大学院薬学系研究科育薬学講座 澤田 康文 先生／佐藤 宏樹 先生／三木 晶子 先生 PS 項目：1-1-1／1-2-1・2／1-3-1～4／2-1-4・6・22・24・26・29・30 2-2-62～64・120～123・127～136・140～153 2-3-1・3～5・31～38／4-1-1～5

開催日	研修会名	演題・講師など
6月26日 (木) 19時30分 ～ 21時00分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	《東大・薬剤師会育薬セミナー》 ※詳細が分かり次第、配信・HP等でお知らせします。

※各研修会のお申込み及び受講研修単位については、個別に配信しておりますご案内状にてご確認ください。

※受講料：福岡市薬剤師会A会員・B会員・研修メンバー会員・薬学生は無料。

福岡市薬剤師会新人薬剤師研修会参加無料登録者は2025年9月30日まで無料で受講いただけます。

それ以外の方（非会員を含む）は、1人3000円の負担をお願いします。

※この研修会は氏名及び薬剤師免許番号を含む受講者名簿を「公益財団法人日本薬剤師研修センター」に報告させていただきます。また、氏名及び勤務先名を含む受講者名簿を共催団体へ提供する場合もございます。ご了承の上、お申込みください。

※研修単位は、申請状況・受講状況によっては単位が認められない場合もございます。

※福岡市薬剤師会で開催される研修会・説明会等の運営は、保険薬局会費により運営しております。

【お知らせ】

東大・育薬セミナーの会場受講にて交付しております「DLMセンター発行 育薬セミナー単位」について
医薬品ライフタイムマネジメントセンターのDLM認定薬剤師制度の改変に伴い、

1.25単位（120分）から1単位（90分）へ変更となりました。

DLM認定薬剤師制度の詳細については、「NPO法人 医薬品ライフタイムマネジメントセンター」の
ホームページをご確認いただくか、お問合せ先にメール送信にてお尋ねください。

《NPO法人 医薬品ライフタイムマネジメントセンター》

ホームページ：<https://www.dlmc.jp/> お問合せ先：DLMセンター事務局（office-070401@dlmc.jp）

【 研修会受講の際の注意事項 ☆受講前に必ずご確認ください 】

【日本薬剤師研修センター 薬剤師研修・認定電子システム（P E C S）の登録】

日本薬剤師研修センターにて認定薬剤師の研修単位の取得・認定申請を行っている薬剤師は、**必ず登録が必要です。** 必ず研修会受講までに登録ください。

未登録の場合は、受講いただいても研修単位は付与されませんのでご注意ください。

P E C Sについては市薬ホームページをご確認ください。

※「福岡県薬剤師会研修カード」の使用、「受講単位シール」の交付は2022年3月末で終了しました。

《 会場受講の場合 》

【当日持参するもの】

- P E C Sの自身の登録ページから印刷したQRを必ず持参してください。

- 身分証明書（※本人確認に必要です。）

※市薬発行の会員証・マイナンバーカード・運転免許証・健康保険証・HPKIカードなど一般的な身分証明書



身分証明
書類

**QRを持参していなかった場合は、
研修単位は付与できません**のでご注意ください。

【受講手順】

①受付時

受付にQRと身分証明書を提示。
受付に設置したQR読取装置に
持参したQRを読み取らせてください。



②終了時

受付に設置したQR読取装置に
持参したQRを再度読み取らせて
ください。



※「受付時」と「終了時」の2回のQRの読取りが
必要です。1回のみでは無効となります。

※ 読取り時間が記録されるため、**開会から閉会までの受講が必要です。遅刻・早退は単位が認められません**のでご注意ください。

※開会直前は受付が混み合う場合があります。
なるべく時間に余裕を持ってお越しください。

☆引き続き新型コロナウイルス感染症の基本的な
感染予防対策を守りご参加ください。

※マスクの着用については、各自のご判断をお願いいたします。

※以下の場合は、出席をご遠慮ください。

- ✓ 風邪症状（発熱、咳、のどの痛み、たん、鼻水・鼻づまり）がある場合、体調に不安がある場合
- ✓ 感染が疑わしい者との濃厚接触がある場合

《 Zoom 受講の場合 》

【受講前の準備】

※「489kenshu@fpa.gr.jp」・「no-reply@zoom.us」からのメールを受信できるよう設定しておいてください。

【受講手順】

①市薬からの研修会案内文書から参加申込みを行う。

②参加申込済みの方には研修会開催までに

「489kenshu@fpa.gr.jp」より受講案内メールが送信されます。メール本文内の「**事前参加登録 URL**」をクリックし、
表示されるウェビナー登録画面に

・名
・姓
・メールアドレス
・薬剤師免許番号
を入力し「**登録**」をクリック
してください。

③参加登録をした方には「no-reply@zoom.us」から事前参加登録したメールアドレスに参加用 URL が送信されます。

メール本文の
「ウェビナーに参加」
または
「参加URL」
をクリックして参加ください。

※氏名は必ず日本語の正式な表記で参加してください。
氏名が確認できない方は研修単位の付与はできません。（ニックネーム・アルファベット表記・カタカナ表記等不可）

※キーワード報告はございません。

※市薬にて受講者の視聴時間を記録しております。
案内状記載の開会時刻から閉会時刻までの視聴時間が確認できない場合は、単位は認められません。時間に余裕をもって参加ください。

【研修単位の確認】

市薬にて受講者の視聴時間ログ（記録）の確認・P E C Sへの登録完了後に市薬ホームページにてお知らせいたします。P E C Sの自身の登録ページで単位付与されているかをご確認ください。